

平成21年度 第3回かすみがうら市地域公共交通会議録

- 1 日 時 平成21年11月15日(水) 14時00分から15時05分
- 2 場 所 かすみがうら市役所千代田庁舎 防災センター2階研修室
- 3 議 案 ・報告第1号 かすみがうら市乗合タクシー運行状況について
・報告第2号 かすみがうら市地域公共交通総合連携計画策定に係る各種調査結果について
・議案第1号 平成21年度第1回歳入補正予算(案)について
- 4 出席者 ・かすみがうら市長 坪井 透
・関東運輸局茨城運輸支局 斎藤 隆
・茨城県企画部企画課交通対策室 大塚 誠(代理出席)
・茨城県土浦土木事務所 川又和彦
・茨城県土浦警察署 関 晃
・関鉄観光バス(株) 稲葉一男
・(有)美並タクシー 臼井 忠
・霞ヶ浦交通(株) 島田 豊
・(有)神立観光 斉藤日出夫
・(社)茨城県バス協会 瀬谷憲雄
・かすみがうら市議会議長 桂木庸雄
・かすみがうら市PTA連絡協議会 中泉栄一
・かすみがうら市商工会長 真藤実男(代理出席)
・土浦市都市整備部 東郷和男
・かすみがうら市市長公室 塚野 勇
・かすみがうら市総務部 山中修一
・かすみがうら市保健福祉部 菅谷憲一
・かすみがうら市土木部 松澤徳三
【欠席委員11名】
【事務局】
市長公室企画課 金田康則
辻 和徳
長谷川志保
【コンサル】
ランドブレイン(株)

5 議事の経過

【事務局】 資料の確認をし、会長でありますかすみがうら市長からご挨拶をお願いする。

【会長】 会議に先立ち、挨拶として、乗合タクシーについて順調な運行が進められていることと、本日の議事の内容についてと、今後の方針についての話があった。

【事務局】 その後、規約に基づきまして、議事の進行につきましては会長の方でお願い致します。

【会長】 それでは、規定によりまして、議長を努めさせていただきます。皆様のご協力をお願い

したいと思います。それでは、議事として、議事次第の順番に従いまして進めたいと思います。まず、報告第1号として、かすみがうら市乗合タクシー運行状況についての報告を事務局からお願いします。

報告第1号「かすみがうら市乗合タクシー運行状況について」

【事務局】 資料「報告第1号 かすみがうら市乗合タクシー運行状況について」に基づいて説明。

【会長】 それでは、只今報告があった通り、4月から10月までの運行状況につきまして、1日当たり平均で約30人といった内容であります。皆様の方からご質疑やご意見がございましたら、お伺いをしたいと思います。

【委員】 半年経過したと言う事で、経過を報告して頂いたのですが、何かこの利用状況の中で、お客さんや事業者の方からこうして欲しいだとか、そういった要望につきまして何か出ていますでしょうか。

【事務局】 前回の5月の会議の中で、一番お客様からご要望がありました土浦クリニックタウンへの乗り入れと言うのを追加させて頂いたところです。要望につきましては、今の所この要望が一番大きかった。それ以外の要望につきましては、特にもう少し本数があればよいというようなお話も一、二度ございましたが、その辺につきましては、暫定的な運行で一番基本的な部分だけの運行という事になっておりますので、ご了解を頂きたいということで、ご了承を頂いているということがあります。

【会長】 と言う事ですが、よろしいでしょうか。

【委員】 はい。

【会長】 当初計画の値の比から言いますとどうなりますか。

【事務局】 運行を始める前の想定人数が40人、一日平均の利用者数が40人程度と言う見込みでございましたので、若干それから比べますと、低めではございますが、ほぼ想定通りの利用のカバーは出来ているのかなと考えております。

【会長】 あと、利用者は大体固定的な方が多いのでしょうか。

【事務局】 はい、安食ルートにつきましては、大部分が固定客といった形で進んでいるようでございます。大和田・湖岸ルートにつきましては、ほぼ月に2回の利用というように、通院で使われている方が多いという状況のようです。

【会長】 その他ございますか。無ければ、このような状況ですのでご理解を賜りたいと思います。

報告第2号「公共交通総合連携計画策定にかかる各種調査結果について」

【会長】 続きまして、報告第2号公共交通連携計画策定にかかる各種調査結果について、議題と致します。報告をお願い致します。

【コンサル】 報告第2号 かすみがうら市公共交通総合連携計画策定に係る各種調査結果に基づいて説明。

【会長】 それでは、連携計画策定に向けました基礎調査と計画の素案につきまして、説明を頂きましたが、皆様の方で只今の報告に対しまして、ご質疑やご意見等ございましたらお願い致します。

【委員】 今のお話を伺って、ざっくりと全体像はなんとなく分かりました。コミュニティバスとデマンドタクシーを統合して、デマンド型の新しいシステムに持っていくのだということだと思のですが、これを政策化する訳ですね。そうすると普通、今運行しているシステムがありますよね、コミュニティバスとデマンド型のものと。そういうものの、あるいは交通体系としてはJRもありますし、路線バスもある訳ですね。それらの今の課題が何なのかを一回整理して、それを解決するために、このデマンド型にするのだと言う流れになっていないと、市民の皆さんも議員の方々も分からないと思うのです。ちょっと飛躍と言いますか、この部分についてもう少し整理をして頂かないと、コミュニティバスについてもダイヤが問題なのか、料金なのか、またルートなのか、と色々多分課題があると思うので、我々は外部の人間なのでよく分からない所がありますので、今の政策・施策のどこに問題があって、どこを改良しなくてはならないのか、その結果として、あるいは他の施策との組み合わせがありますよね、

その観光であったり、地域振興であったり、といった他の施策とどう組み合わせるのかといったことで、最終的にデマンドに移行してはどうかという形ならば分かりやすいかと思うのですが、今デマンドを使っている方は、お話を聞いているとどうも高齢者の方が病院とか公共施設を循環しているのかなというイメージなので、その辺のフォローも、デマンドに行ってしまうとIT化ですので、その辺が何となく施策が連続して繋がっていないのかなと思いますので、もうちょっと掘り下げて頂いた方が、良いかと思います。これ個人的な見解ですけれども、その方が地域住民に説明をしなくてはなりませんし、議会の方にも説明をされるでしょうから、そういった感じがします。

【会 長】 公共交通が廃止されて、どうしようかと言う中で始まったものですので、今言われましたように、この中で様々な諸課題があるかと思しますので、この辺を含めて、少し皆さんのご意見を聞きながら検討を頂いて、少し整理をしていきたいと考えております。何かございましたら。

【コンサル】 おっしゃる通りでございます、今日はたたき台を出してしまったので、その間のシナリオが不明瞭な点がございまして、今日1つまだ言っていないのが、実は、コミュニティバスとデマンドタクシーがある。当然それぞれ地域が違うので、運行のサービス水準も違うのです。コミュニティバスは週に1つのルートで言えば2日しか走っていない。かたや乗合タクシーは毎日運行していて、比較的自分の家に近い所まで来るということなので、そう言う意味では、サービス水準が全然違うのです。なので、アンケートでは明確に不公平感と言うものが出ていないのですけれども、当然同じ地域に違うものがあり、違うサービス水準だということがあるので、こういったことも整理しながら、きちんと何が問題なのかを分かりやすいように整理したいと思います。

【委 員】 前に企画書の中で、ワークショップという話があったかと思うのですが、あれは活きるのでしょうか。

【コンサル】 実は、スケジュールの調整が不十分でございまして、12月に入ってから実施する予定でございます。従いまして、そう言う所で、市民の生の声が聞けると思しますので、計画に反映していきたいと思っております。

【会 長】 その他ございますか。

【委 員】 計画の中で平成22年度からの計画の部分というものについて、許認可の関係の話をさせて頂きましても、実際その運行のスケジュールに合わせた形での、前もっての申請行為があり、前回デマンドというお話でしたので、その辺の許認可に要する期間もありますので、実証実験と言いながらも、例えばこんな言い方をしては失礼かもしれませんが、とりあえず始めてしまうという風にするのか、今のコミュニティバスは、来年の3月でおしまいなのでしょうか。

【事務局】 コミュニティバスがまだ廃止と決まった訳ではありません。

【委 員】 まだ決まっていないとそうすると、最終的に時間をかけてじっくり練っていく方法が当然可能なのです。ただ1点ですね、今走っているデマンド(乗合タクシー)については、実証実験という形でやられていると思いますので、ちょっと限定的に1年間しか届け出がされていないと思いますので、ですから、1年経ってあのままの内容でしたら、一旦切らざるを得ない格好になると思います。ですから、最終的にとりあえず4条化ということで説明をさせて頂いておりましたが、本格運行に移行して頂きます。この辺りの考え方を時間的なものがありますので、この辺りの整理も並行して必要です。この辺りが若干心配な所です。また、事務局同士でお話させて頂いてもかまいません。

【会 長】 このことについて、事務局お願いします。

【事務局】 只今、ご意見頂きました乗合タクシーにつきまして、実証実験ということで運行をさせて頂いているのですが、現在4条化に向けての手続きとしまして、書類作成をさせて頂いているのです。来年4月から4条の運行に切り替えて、新しいシステムが出来る間になるかと思っておりますけれども、4条の運行に切り替えて継続して運行が出来るように手続きを今進めておまして、まもなく書類の方が一通り揃いそうですので、ご連絡させて頂いて、事前にご相談にまた伺わせて頂きたいと思っておりますので、よろし

くお願い致します。

【委員】 よろしく申し上げます。もう1点なのですが、最終的にデマンド型というイメージがある中で、計画を進めていらっしゃるわけですが、これは別に良いことだと思うのですが、ただ、今県内で40市町村の中で十余の市町村でデマンドのシステムが立ち上がっております。ちょっと数を間違えているかもしれませんが、もちろんその市町村の地形的なものによって非常に有効に活用されている所もあれば、かなり過疎地を抱えている中で、非常に運行の効率が悪いというお話も中にはございます。また、費用的なものに関しましても、かなり数千万円単位のランニングコストが掛かるという事がございます。そういった点で言いますと、これはたたき台ですので、次回色々作られる中で、色々検討されているかと思いますが、デマンドシステムのメリットとデメリットを明確に示して頂いた方がよろしいと思います。あと、なぜ気になったかと言いますと、資料の19ページにありますアンケート調査の中で、外出したい時に外出手段がなくて困る場合がありますかという質問の中で、大体8割近くの方があまり困る事がないというご回答がある中で、例えば費用対効果の問題なのですが、デマンドシステムを入れて、じゃあ果たして、それがどの程度乗る事があるのかといった需要予測ですね。この点について非常に興味があるところですので、メリットとデメリットや費用対効果についての分析につきまして、少しやられた方がよろしいと思います。

【会長】 この辺りについて、十分にご検討頂きますようお願い致します。

【コンサル】 当然色々なシステムがありますので、これまでの流れの中での落とし所はデマンドかなと言うことが先行しておりましたので、そのシステムがなぜ良いのかということについて、積み上げてこれが良いというような整理をしておりますので、今ご指摘がありましたように、需要予測をした上で、経費との収支バランスを見て、これが一番効率の良いシステムというような比較をして、検討を行いたいと思います。

【会長】 その他ございますか。とりあえず無ければ、この議題につきましては打ち切らせて頂きます。この点について何かございましたら、事務局でご意見等をたまわりたいと思います。

議案第1号「平成21年度第1回歳入補正予算(案)について」

【会長】 続きまして、議案第1号「平成21年度第1回歳入補正予算(案)について」を議題としまして、事務局から説明をお願い致します。

【事務局】 議案第1号 平成21年度第1回歳入補正予算(案)について を説明。

【会長】 それでは、歳入補正予算(案)が示された訳でございますが、ご意見等ございますか。これにつきましては、国庫補助の決定によるものですので、ご承認を頂いたと言う事で、よろしいですね。

それでは、その他皆様の方から何かございましたらお願いをしたいと思います。事務局から何かありますか。

【事務局】 私の方から1点。先ほど話題に上がりました、今回の公共交通総合連携計画に伴います市民意見交換会を12月13日(日曜日)に予定しております。千代田庁舎では、この場所(防災センター2階)で午前10時から、対象としては千代田地区にお住まいの方。それと、あじさい館の会議室で同じ12月13日(日曜日)の午後2時から、対象としては霞ヶ浦地区にお住まいの方ということで、広報誌およびインターネットを通じて市民に通知させて頂きます。その中で、市民の意見を聞いて意見交換をしたいと思いますので、日程だけお知らせをさせて頂きました。

【会長】 審議終了の挨拶

【事務局】 次回の日程について、12月の中旬頃にさせて頂きますので、日程が決まりましたらご連絡いたしますので、よろしくお願い致します。それでは、以上を持ちまして本日の会議を終了させて頂きます。